

活動名	自分らしさってなに？		
学校名	平塚市立岡崎小学校、平塚市立八幡小学校、平塚市立松延小学校		
学年	第3学年	人数	岡崎小：24人、25人、26人 八幡小：27人、27人 松延小：25人、25人、26人
日時	岡崎小 令和5年10月2日（月）、3日（火）、4日（水）9：40～10：25 八幡小 令和5年10月24日（火）、25日（水）10：45～11：30 松延小 令和5年10月31日（火）9：35～10：20 11月2日（木）13：35～14：20、14：25～15：10		
取扱いの分類	学級活動		
講師	養護教諭		
学習のねらい	性別によって体や物事に対する感じ方や考え方に違いがあるが、人間として同じであることを理解させ、性別にかかわらず、互いに理解し合い仲良く協力していこうとする態度を育てる。		
内容	（導入） ① 学習のめあてを確認する。 ⇒自分らしさについて考えよう。 ・自分らしさとは人と違っていいことを知る。 （展開） ② わたしの好きなことは（資料参照） ・「わたしの好きなことは？」のワークシートに○をつける。 ・隣り同士で見せ合って、自分のものと比べて違いがあることを知る。 ③ 男の子・女の子のイメージ ・それぞれのイメージを考えて、ワークシートに書く。〔色、性格、服装、仕事など〕 ・「女だから、男だから」と言われたときの気持ちについて考える。 ④ 体の性 ・大人に近づくにつれ、一般的に男子はがっしりとした体つきに、女子は丸みのある体つきに変化することを知る。 ⑤ 心の性・心の個人差 自分の性別を心がどう感じているかを「心の性」ということを理解する。 わたしたちの周りには、体の性と心の性が、同じという人が多い。しかし実際には体の性と心の性が違う人もいることを知る。 （まとめ） ⑥ 自分らしく生きる ・いろいろな個性を持った人がいることで、助け合い、ひとりではできないことができることを理解する。 ⑦ 本日の授業を振り返る。 ・ワークシートに授業を受けて学んだこと、感じたことを書く。		

	(参考) ・第1章総論編：小学校における性に関する指導の目標及び指導内容、人権教育 ・第2章実践編：第4学年「体の発育・発達」（体育科 保健領域）
成果 (児童・生徒、 教職員の感想 等)	児童からは、「男女かんけいなく、自分らしく生きることが大切」、「男女かんけいなく、好きなことがえらべると聞いて、心がかんくなった」、「悩みを聞いたら『人それぞれ。自分のこせいをだいじにして』と言ってあげたい」等感想があった。授業を通して自分や周囲の人の「らしさ」を大切にする態度が育まれたように思う。
課題	後半部分は説明が多くなるため、3年生だと集中力が持続しない児童もいた。児童に意見を求めたり、近くの席の児童同士で話す時間をとったりしながら行うとよいと感じた。
学校全体での 取組や工夫 (予定も可)	職員の中でも、男の子だから、女の子だからというイメージで指導することのないよう留意する。

1 本^{ほん}を読むことがすき はい ・ いいえ

2 外^{そと}で遊ぶことがすき はい ・ いいえ

3 ゲームがすき はい ・ いいえ

4 動物^{どうぶつ}がすき はい ・ いいえ

5 おかし^{おかし}作りがすき はい ・ いいえ

6 勉強^{べんきょう}がすき はい ・ いいえ

(パワーポイントの資料抜粋)

女だから、男だから



自分らしくともに生きる

